

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|------------------------|
| 事業所番号 | 2373000989 |
| 事業所名 | 介護支援センターつばさ グループホーム事業部 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|---|-------------------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、地域の一員としての役割を担っており、地域の社会資源として認められている。認知症サポーター養成講座や認知症カフェには地域からも多数の参加があり、地域の認知症理解に貢献している。 盆踊り等の地域イベントには積極的に参加し、会場では利用者のために椅子席が用意される。 | 評価 ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 市や地域包括支援センターの職員、民生委員、市・社会福祉協議会の職員等が参加し、2ヶ月に1度の運営推進会議を開いている。 今年度、2回(6月、8月)は認知症カフェと同日に開催し、参加した地域住民から貴重な意見が収集できた。 | 評価 ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、地域包括支援センターの担当者が毎回参加し、介護相談員の毎月の訪問もある。 水害の恐れがあることから、「防災マニュアル」を整備している。今回の「水防法」の改正に伴い、県と市の職員が『防災マニュアル作りの参考にしたい』と、ホームを訪問して意見を聞いていった。 | 評価 ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 写真や主治医の意見を載せ、利用者の様子を伝える便りが毎月発行されており、家族からも好評である。 家族はホーム運営に協力的であり、季節イベントへの参加呼びかけには、多くの家族がホームに集まってくる。その際にも、家族から意見や要望を聞き取っている。 | 評価 ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | 評価 ○ ○ ○ |
| 総合評価 | | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
| 総合評価 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | | |